



学校通信

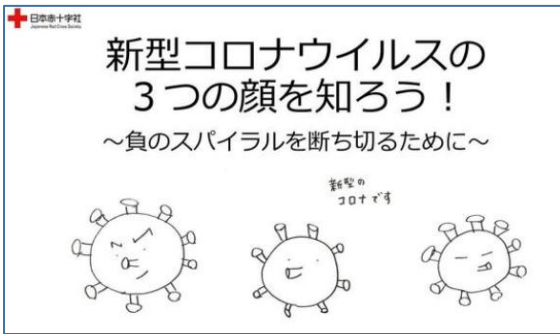
柏原小だより

命が一番！健康第一！

・・・地域と共に伸びる 笑顔あふれる柏原小学校・・・

令和2年8月28日
狭山市立柏原小学校
在籍児童数531名
電話 2953-5862
校長 井上 健

負のスパイラルを断ち切るのは、 私たち一人一人の責任ある言動にかかっている！



今年の3月末に、日本赤十字社から「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」のガイドが出されました。テレビや新聞でも取り上げられていたので、見られた方もいると思います。

現在、新型コロナウイルス（以後「コロナ」）に対しての治療薬やワクチンの開発にはまだまだ時間がかかりそうな状況です。このガイドには、長期戦の対コロナ生活について、私たちが気を付けて生活しなければいけない

ヒントが書かれていますので、今回は紹介させていただきます。

このコロナには、3つの顔（感染）があるそうです。

1つ目は、「**病気**」そのものの顔（感染）。

2つ目は、「**不安**」の顔（感染）。毎日のようにコロナについての情報は、更新され続けています。顕著なのが、「感染者数」です。数値の数によって、「不安」な気持ちは自然と高まってしまいがちです。

3つ目が、「**差別**」の顔（感染）。不安から偏見や差別へうつってしまう。

そんな特性があるコロナですが、ガイドはここだけでは終わらず、それぞれの感染を防ぐための策も紹介しています。

詳しくは、日本赤十字社のHP（右のQRコード参照）を見ていただくとして、紙面の都合上、3つ目の「差別」の感染について、簡単に触れます。

この「差別」が生まれる背景は！・・・見えない敵（コロナ）への不安から、特定の対象を見える敵と見なして偏見や差別をして、つかの間の安心感を得ようとするところから生まれるそうです。人間の生き延びようとする本能により感染に関わる人を遠ざけてしまうとのことです。特定の人や地域、職業などに対して「危険」「ばい菌」と言ったレッテルを貼る言動がそれにあたります。

そして、その予防策についても示されています。

「**確かな情報を得る**」ことや「**差別的な言動に同調しない**」ことがあげられ、さらに、この緊急事態に対応している医療従事者や治療を受けている人とその家族、日常生活を送って社会を支えている人・・・**すべての方々へのねぎらいや敬意を払う**ことも、書かれています。

現在、本校の関係者における感染は確認できていませんが、今後、感染者が発生したときや疑いがある事案が発生したときには、この負のスパイラルを本校関係者一人一人の思いと行動で断ち切るようにお願いしたいと思います。学校としましても、正しい情報の提供をしていきます。

私たちの言動一つが、子供たちにも伝わります。子供たちが笑顔いっぱい学校生活を送れるよう指導を繰り返していきますので、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

日本赤十字社 HP

